【コピー、転送、回覧など多くの人にお渡しください。各団体各地の活動をお知らせ下さい】

メールニュース

№22-05
2022年　1月19日

安保破棄中央実行委員会
〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 2-11-13
TEL03-3264-4764　FAX03-3264-4765

大接戦の名護市長選
岸本ようへい勝利へ全国から支援を
安保中央が全国に訴え

沖縄県名護市長選挙の投開票日まであと4日となりました。辺野古新基地中止を掲げるオール沖縄の岸本ようへい候補が新基地容認の現職に対して、猛追する大接戦となっています。

安保破棄中央実行委員会は本日、大接戦の名護市長選挙勝利へむけて、大接戦の名護市長選　岸本ようへい勝利へ全国から支援を」の最終盤の訴えを加盟団体と各都道府県実行委員会に送りました。

次の3点をお願いします。①すでにお願いしている組織での電話作戦については、1軒も残さず、期日前投票へのお誘いの訴えを最後までやりきってください。投票日当日の乗権防止電話へのご協力もお願いします。②沖縄県内在住の友人、知人に連絡し、名護市内在住者の電話などを聞き、支持を訴えてください。③支援カンパを最後まで広げてください。（送り先別記）

安保中央の訴え文

大接戦の名護市長選　岸本ようへい勝利へ全国から支援を

2022年1月19日

安保破棄中央実行委員会

23日投票の沖縄・名護市長選挙は、辺野古新基地容認の現職に対して、辺野古新基地中止を掲げるオール沖縄の岸本ようへい候補が猛追する大接戦となっています。

現地では、新型コロナ感染が急拡大する厳しい状況の中で、岸本ようへい選対に結集する各党や沖縄県統一連が一体となって全力で市民への宣伝・組織戦を展開し、相手の「背中が見える」ところまで追い上げ、「頑張れば勝てる」情勢を切り開いています。全国からの現地支援や電話作戦も力となっています。

沖縄タイムス・琉球新報などの合同世論調査による18日の報道では、「渡具知氏やや先行 岸本氏猛追」と報じています。全国紙でも、朝日が「互角の激戦」、読売が「横一線」と報道しています。名護市の有権者が重視する政策では、地元2紙では辺野古新基地問題が最多で30%となっており、どの調査でも辺野古新基地反対は60%を超えています。

ここまで到達した情勢をふまえ、何としても岸本ようへいさんを市長に押し上げるために、もう一回り、二回りの支持拡大が決定的に重要です。

現地に行けない困難はありますが、各団体のみなさんの熱意と創意で次の取り組みに全力をあげることを重ねて訴えます。

辺野古新基地を許さず、改憲と大軍拡で戦争への道を進める岸田政権に痛打を与えるため、全国のみなさんのご奮闘を訴えます。

①すでにお願いしている組織での電話作戦については、1軒も残さず、期日前投票へのお誘いの訴えを最後までやりきってください。投票日当日の乗権防止電話へのご協力もお願いします。

②沖縄県内在住の友人、知人に連絡し、名護市内在住者の電話などを聞き、支持を訴えてください。

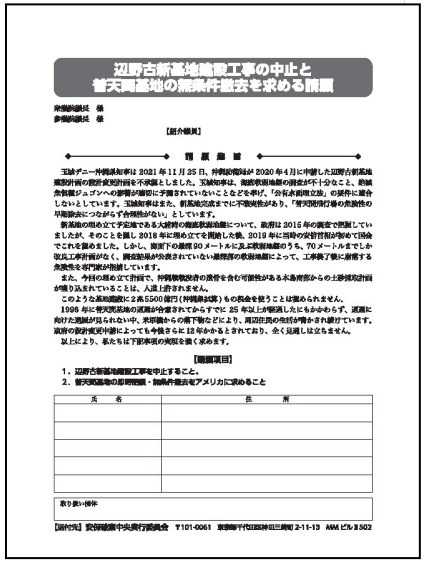
③支援カンパを最後まで広げてください。

・沖縄県統一連あて　郵便振替口座　01710-8-62723　加入者名　沖縄県統一連

・岸本ようへい後援会　ゆうちょ銀行口座　17080-21877761　「キシモトヨウヘイコウエンカイ　代表　稲嶺進」

以上

署名用紙をリニューアル
辺野古新基地建設工事の中止と普天間基地の無条件撤去を求める



辺野古新基地建設工事の中止と
普天間基地の無条件撤去を求める請願

内閣総理大臣　様
沖縄県知事　様

【提出者】

請願趣旨

玉城デニー沖縄県知事は2021年11月25日、沖縄防衛局が2020年4月に中断した辺野古新基地建設外周の護岸工事の設計変更申請を不承認とした。玉城知事は、海底軟弱地盤の調査が不十分なこと、絶滅危惧種ジュゴンへの影響が適切に予測されていないことなどを挙げ、「分有水面埋立法」の要件に適合しないとしている。玉城知事はまた、軟弱地盤までに不陸崩壊があり、「普天間飛行場の危険性の早期除去につながる不合理性がない」としています。

新基地の埋め立て予定地である大浦湾の海底軟弱地盤について、政府は2015年の調査で把握していましたが、そのことを隠し、2018年に埋め立てを開始した後、2019年に当時の安倍官房長官が初めて公表でこれを認めました。しかし、海面下の最深90メートルに及ぶ軟弱地盤のうち、70メートルをでしか改良工事計画がなく、調査結果が公表されていない最深部の軟弱地盤によって、工事終了後に崩壊する危険性を専門家が指摘しています。

また、今回の埋め立て計画で、沖縄戦戦没者の遺骨を含む可能性がある本島南部からの土砂搬入計画が盛り込まれていることは、人道上許されません。

このような基地建設に2兆5500億円（沖縄県試算）もの税金を使うことは認められません。

1996年に普天間基地の返還が合意されてからすでに25年以上が経過したにもかかわらず、返還に向けた進展が見られない中、米軍機からの部品などにより、周辺住民の生活が脅かされ続けています。政府が提案する代替施設によっても今後さらに12年かかるとされており、全く見通しはなりません。

以上により、私たちは下記事項の実現を強く求めます。

【請願項目】

1．辺野古新基地建設工事を中止すること。
2．普天間基地の即時返還・無条件撤去をアメリカに求めること

氏　名	住　所

取り扱い団体

【問合先】安保破棄中央実行委員会　〒101-0061　東京都千代田区神田三崎町 2-11-13　MM ビル 3 502

安保破棄中央実行委員会は、署名　辺野古新基地建設工事の中止と普天間基地の無条件撤去を求める請願」をリニューアルしました。「いまこそ中止を！沖縄・辺野古新米軍基地建設」リーフとともに活用をお願いします。署名用紙を大量注文の場合は、安保破棄中央実行委員会までお問い合わせください。

署名用紙は1枚1円です。ただし署名用紙の送料は、ご負担いただきます。

署名用紙や注文書は、安保中央のHPをご覧下さい。

署名の注文書

安保中央のHPをご覧下さい

岸本ようへい氏勝利にむけたカンパの送り先

・沖縄県統一連あて　郵便振替口座　01710-8-62723　加入者名　沖縄県統一連
・岸本ようへい後援会　ゆうちょ銀行口座　17080-21877761　「キシモトヨウヘイコウエンカイ　代表　稲嶺進」